

□は方向案の柱、赤字は事務局側での記載事項です。 黄色網掛け箇所が第3回地区別懇談会における参加者の主な意見です。（※決まった内容や事実確認をした内容ではありません）

意見集約のキーワード (復興計画の3つの柱)	地区の主な課題 (地区の復興まちづくりに向けた主な課題)	取組み方針 (課題解決のための取組み方針の柱)	具体的取組み（案） ※実現化に向け、今後検討が必要
①被災者の暮らし再建と コミュニティの再生 【住まい再建】 【コミュニティ再生】	<input type="checkbox"/> 住まいの再建における安全性の向上 ・ 嵩上げる資金がないので、嵩上げせずに現地再建している住民もいる。	<input type="checkbox"/> 住まいの再建における安全性の向上 <input type="checkbox"/> 公民館の再建、コミュニティの再生 ・ 地域の皆が仲良く集まるのが楽しい。 → 支えてくれるのが公民館。 ※消防団も団員間や住民の皆さんとの意見交換の場として。 避難訓練を通して、安全な逃げ方を皆で理解し合い、支え合う。	<input type="checkbox"/> 安全性を高める建て方の誘導 ・ ピロティ式で耐震性を保つことができるのか。地質調査を行う必要がある。 ・ ピロティ式の場合に、住居内にエレベーターを設置するための行政支援の有無（エレベーターは浸水時に危険）。 ・ 水害だけでなく、地震も想定した住宅の耐震化。 ・ 川沿いは既に新築している住民もあり、住民間で盛土の必要性について温度差がある。 ※盛土の行政支援があれば良いが、再建済みの住民が支援を受けられないのであれば不平等になる。 ※嵩上げをせずに現地再建されている住民への支援はあるのか。 ・ 皆で揃えるのは難しい。 ※ピロティ化せず再建している人が多い。 → 復興まちづくりでピロティ化が決まった場合、ピロティ化をあてはめるのか？ ・ どの事業手法が早いのか、どの程度補助があるのか。 ・ 嵩上げるには面的な拡がりが必要。 <input type="checkbox"/> 公民館の再建 ・ 宝来町の集会所再建は来年度。早く再建したい。高床式にする？
②力強い地域経済の再生 【生業再建】	<input type="checkbox"/> 農地の再生 ・ 農地の再生が必要。 ・ 場所を移転しても生業を継続できる住民は、既に移転した。 ・ 農業(自給的兼業農家が多い：稲・野菜) 【下城本町】 ※宝来町、相良町には殆んど農地はない。 ・ 地域の産業・特産もない。 ※薩摩瀬の量販店に働きに行く人が多い。	<input type="checkbox"/> 農地の再生 ・ 農地を再生する。	
③災害に負けない まちづくり 【避難対策】	<input type="checkbox"/> 安全な避難ルートの確保 <input type="checkbox"/> 避難施設の確保・改善 ・ 高い建物が殆どない。 ※宝来町の壱番館ぐらい。 <input type="checkbox"/> 安全な避難方法の確立	<input type="checkbox"/> 安全な避難路の整備 <input type="checkbox"/> 避難所の機能拡充 <input type="checkbox"/> 緊急避難場所の整備 ・ 人吉球磨能力開発センターの所に5階建て災害公営住宅、1階は駐車場か？ <input type="checkbox"/> 自助共助の避難体制の構築 ・ 要支援者の情報を地区に教えて欲しい。情報があれば優先的に避難を呼びかけることができる。 ・ 自主避難が困難な高齢者避難をどうするか、町内で問題として捉えている。 ※移動の足(自動車)がない、運転できない。	<input type="checkbox"/> 地域特性を踏まえた地区防災計画、マイ・タイムラインの作成 <input type="checkbox"/> 防災情報の伝達機能強化 <input type="checkbox"/> 緊急避難場所（災害公営住宅兼避難ビル等）の整備 ・ 道路を拡幅し積載車の通行を確保する。 ・ 近所で階段のある高層建造物に避難する。 <input type="checkbox"/> 自助共助の避難体制の構築 ・ 発災後を想定し、避難時に積載車を安全な所へ避難させる。 ・ 高齢者だけでは動きが取れない。 ※敬老会で把握(一人暮らしや耳の遠い人)し、消防団と事前情報交換が必要。 一人にしない。 以前は要支援者の名簿があった。今は町内会長と民生委員が情報保持。 → 個人情報保護の壁がある(原則論) → 『助ける体制を作るための情報共有』に本人の同意欄があり、本人が必要な方への情報提供に同意していれば、原則論以外にも情報提供可能。 ・ 消防団の担い手不足(現在、薩摩瀬消防団は5町内で16名)。
【治水・土砂災害対策】 【復興まちづくり】	<input type="checkbox"/> 小河川氾濫 <input type="checkbox"/> 外水氾濫	<input type="checkbox"/> 小河川氾濫対策の推進・促進 ・ 御溝川の水をどのようにコントロールするのか。 <input type="checkbox"/> 流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下 ・ 年月はかかっても『球磨川の治水対策』が一番。	<input type="checkbox"/> 小河川氾濫対策の推進・促進 ・ 小河川氾濫を防ぐためにも、巨大暗渠(首都圏外郭放水路のような)の整備が必要。 <input type="checkbox"/> 流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下